

令和4年5月31日(火)発行

目次

○ 会津農林事務所長 着任のご挨拶

○ 頑張る農林漁業者の取組紹介

- ・植田清夫さんが全国そば優良生産表彰を受賞しました
- ・「会津地鶏みしまや」が農場 HACCP 認証を取得しました
- ・喜多方市の上堰棚田が「つなぐ棚田遺産」に認定されました
- ・新宮川ダム運営の安全祈願祭を執り行いました

○ 会津農林事務所の取組紹介

- ・会津坂下地域「水稻直播栽培播種作業」実演会を開催しました
- ・食育活動にふくしま食育実践サポーターを派遣しました
- ・GAPの取得を推進しています
- ・原発事故に伴う山菜等の出荷制限品目について巡回指導を行いました

○ 会津農林事務所からのお知らせ

- ・就農コーディネーターのご紹介
- ・ふくしま農山漁村発イノベーションセンター(ふくしま地域産業6次化サポートセンター)のご紹介
- ・山火事の防止について
- ・あいづ“まるごと”ネット会員募集中



恋人坂からの眺望(喜多方市)

会津農林事務所長 着任のご挨拶



4月の人事異動で会津農林事務所長に着任しました星源昭と申します。^{ほしげんしょう}

会津は、出身地でもあり8年ぶりの勤務となります。

今年度は、「『もうかる』『誇れる』共に創るふくしまの農林水産業と農山漁村」を基本目標として掲げる、新しい「福島県農林水産業振興計画」がスタートしました。

会津地方におきましては、「『会津の誇り』豊かな自然と匠の技できらめく会津の農林水産業」をスローガンに、次の3つの柱で振興計画の実現に向けて取り組んでまいります。

○ 地域をリードする担い手の確保・育成と生産基盤の強化

関係機関等と連携した新規就農者の受入体制の充実や農地・林道など生産基盤の整備を進めるとともに、スマート農林業技術の導入による省力化等を進めてまいります。

○ 収益性が高く競争力のある産地づくり

GAP 認証取得の促進と併せて会津ブランドの米をはじめ、アスパラガスなどの野菜、カスミソウなどの花き、会津牛や地鶏など、良質で多彩な品目のブランド力強化と産地の拡大、輸出促進等を図ってまいります。

○ 資源を守りいかす、活力ある農山村の形成

広域連携による鳥獣害防止対策の支援や森林資源等の循環利用を促進するとともに森林や農村が持つ多面的機能が効果的に発揮されるよう、地域の維持・保全活動を支援してまいります。

ふるさと会津の農林業の振興と担い手の所得拡大を図るため、積極的に現場に足を運び、職員一丸となって取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

頑張る農林漁業者の取組紹介

祝

植田清夫さんが全国そば優良生産表彰を受賞しました

喜多方市熊倉町の植田清夫さんが、令和3年度第33回全国そば優良生産表彰事業（一般社団法人日本蕎麦協会主催）において、全国蕎麦製粉協同組合理事長賞を受賞しました。

この表彰は、国内そば生産において、低コスト・品質向上などの面で模範となる生産団体等を表彰するものです。植田さんは、喜多方市雄国地域で夏そばと秋そばを合わせて約54ha栽培しており、また、中山間地域の主要な担い手として不作付地や荒廃農地を借り入れ、農用地の多面的機能維持に貢献していることが評価されました。

令和4年4月7日、会津農林事務所を訪れ、受賞を報告されました。



植田さん(左) 星所長(右)

【喜多方農業普及所】

「会津地鶏みしまや」が農場 HACCP 認証を取得しました

有限会社会津地鶏みしまや（三島町）が、令和4年4月27日に肉用養鶏場としては県内初の農場 HACCP 認証を取得しました。

農場 HACCP（ハサップ）とは、畜産農場において、微生物や化学物質などの危害要因を防止するポイントを継続的に監視・記録するなどの HACCP の考え方を取り入れた衛生管理手法のことで、農場 HACCP 認証は、基準に基づき、安全な畜産物を生産するための衛生管理を行う農場を認証する制度です。

同社では会津地鶏の飼育及び食鳥・食肉処理、販売を一括して手がけ、以前から安全な畜産物を消費者に提供しています。このたび衛生的な農場経営を実現するための管理体制が評価されて、認証取得となりました。



認定証を手にする小平社長(中央)と社員のみなさん



鶏舎外部



鶏舎内部

【会津坂下農業普及所】



喜多方市の上堰棚田が「つなぐ棚田遺産」に認定されました

喜多方市山都町の上堰棚田（取組団体：上堰棚田地域振興協議会）が「つなぐ棚田遺産」に認定されました。

「つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～（ポスト棚田百選）」とは、棚田地域の振興のために様々な活動をしている棚田を優良な棚田として農林水産省が認定するもので、認定された棚田（団体）には認定証が授与されます。

上堰棚田地域振興協議会は、堰さらいボランティア活動のほか、棚田オーナー制の実施や棚田米を活用した日本酒を販売する等、棚田の保全と地域活性化に大きく寄与しており、それらの取組が評価され、今回の認定となりました。

令和4年3月31日に、喜多方市役所において上堰棚田地域振興協議会の大友治監事と同協議会の構成団体である「本木・早稲谷堰と里山を守る会」の浅見彰宏副会長が出席し、認定証授与式が行われました。



左から
大友さん、浅見さん、
遠藤市長、喜多方市山都
総合支所 猪瀬所長

【企画部】



新宮川ダム運営の安全祈願祭を執り行いました

令和4年4月27日に会津美里町の新宮川ダムにおいて、農業用水の安定供給と管理業務の安全を祈願する水神祭が、関係者の出席のもと執り行われました。

当ダムは、会津美里町と会津坂下町に係る4,500haの農地への主要な水源として、大きな役割を担っています。今年は積雪が多かったため、平成16年のダム運用後5番目に早い満水となり、農業用水の供給準備が無事整いました。



水神祭の様子



全面越流する新宮川ダム

本格的な営農の時期を迎え、当ダムの業務もあわただしくなっていますが、農業用水の確保と安定的な供給ができるよう、会津宮川土地改良区始め、関係者と連携して日々のダム管理に取り組んでいきます。



ダム堤頂からの越流



満水のダム湖

【農村整備部(新宮川ダム管理所)】

会津農林事務所の取組紹介



会津坂下地域「水稻直播栽培播種作業」実演会を開催しました

令和4年5月20日に会津坂下町大字船杉地内の水田において、会津坂下地域「水稻直播栽培播種作業」実演会を開催しました。

県では、国が策定した「みどりの食料システム戦略」に基づき、省力化技術と環境負荷軽減技術の普及を進めています。今回は「みどりの食料システム戦略推進交付金（グリーンな栽培体系への転換サポート）」を活用し、省力化技術の中でも水稻直播栽培に着目した実演会を行いました。

当日は、会津坂下管内の農業者や関係機関など約20人が参加し、①農業用ドローンによる播種、②無コーティング代かき同時播種機による播種の作業が実演されました。

参加者がメーカーの担当者に熱心に質問するなど、省力化技術に対する関心の高さがうかがわれました。



「水稻直播栽培播種作業」の実演会



無コーティング代かき同時播種機による播種

【会津坂下農業普及所】



食育活動にふくしま食育実践サポーターを派遣しました

県では、学校や地域団体等が実施する子ども等を対象とした食育活動（食育に関する講話や調理実習等）を支援するため、要請に応じて食育実践サポーターを派遣しています。現在、食育実践サポーターには、農林漁業者、酪農家、栄養士、野菜ソムリエなど、さまざまな分野の方が登録されています。

湯川村立笈川小学校において令和4年5月12日に食育教室が開催され、室井つな子さん（栄養士）を派遣しました。「バランスよく食べよう」、「骨をじょうぶにしよう」をテーマとした食育授業が行われ、室井さんは、児童たちへ分かりやすく丁寧に食の大切さなどを伝えていました。

会津管内において、食育実践サポーターの派遣を希望される場合は、会津農林事務所企画部（☎0242-29-5369）までご連絡ください。食育実践サポーターの派遣にかかる経費は県で負担します。詳細については、会津農林事務所企画部 HP をご覧ください。

○会津農林事務所企画部 HP

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36240a/syokuikusupporter.html>



笈川小学校3年生
テーマ「バランスよく食べよう」



笈川小学校4年生
テーマ「骨をじょうぶにしよう」

【企画部】



GAPの取得を推進しています

『**GAP**』（農業生産工程管理、**G**ood（良い）**A**gricultural（農業の）**P**ractice（行い）の略）とは、生産者（産地）が生産活動を行う上で必要な食品の安全性や環境の保全、従事者の労働の安全性等を確保するためのチェック項目を定め、実施、記録、点検、評価を行い農業生産工程の管理・改善を行う取組のことです。

現在、県内では383件の農業者、団体が取得し、そのうち会津農林事務所管内は97件と全体の25%を占めており、トップクラスの取得件数となっています。

会津農林事務所では、異物混入や残留農薬問題といった農産物の安全性に対する消費者や流通業者からの関心に応え、より安全な農産物を提供するために、生産者のGAP取得の推進に取り組んでいます。



作業記録等チェックの様子

『G A P 取得してみようかな?』とお考えの農業者の皆様、ぜひ各農業振興普及部・普及所へご相談ください。

これからの新しい農業のために、第三者認証G A Pに取り組みましょう!

【農業振興普及部】



原発事故に伴う山菜等の出荷制限品目について巡回指導を行いました

会津農林事務所管内においても、原発事故に伴う山菜等の出荷制限が続いておりますが、品目ごとに出荷制限市町村が異なることから、農産物直売所や小売店等を定期的に巡回し、出荷管理状況を確認しております。

今年度、会津農林事務所では、会津保健福祉事務所と共に、令和4年4月21日から27日にかけて、管内一円の巡回指導を実施しました。



巡回指導の様子

巡回の結果、出荷が制限された市町村から採取された山菜等の販売物は確認されませんでした。産地が表示されていない商品が確認されたため、その場で改善を図るよう指導しました。

きのこ・山菜等の出荷にご注意ください

きのこ・山菜等は、出荷が制限されている市町村で生産・採取されたものは出荷できません。

○出荷制限品目

- ・こしあぶら（湯川村を除く12市町村）
 - ・たらのめ（野生）（北塩原村、猪苗代町）
 - ・ねまがりたけ（野生）（猪苗代町）
- （ねまがりたけは、県の定める出荷・検査方法に基づき管理されるもの以外）

○また、下記の行為は出荷に当たりますのでご注意下さい。

- 1 市場や直売所などへきのこ・山菜等を出すこと
- 2 インターネット等による通信販売（フリマアプリ等を含みます）
- 3 無償で他人に譲渡すること
- 4 加工食品の原料として使用すること

詳細については、林業振興課 HP をご覧ください。

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36055c/ringyo-monitoring.html>

【森林林業部】



会津農林事務所からのお知らせ

就農コーディネーターのご紹介

公益財団法人 福島県農業振興公社では、体制を拡充して令和4年4月1日より県内7方部ごとに「就農コーディネーター」を配置しています。新規就農者の確保・育成・定着化などを支援していますので、就農に関するご相談はお気軽にご連絡ください。



会津担当

さとう きよまる

佐藤 清丸 就農コーディネーター

地域における担い手の確保はもちろん、県外からの移住・定住者も含めた新規就農のお手伝いをさせていただきます。コロナ禍で農業や地方が見直されており、農業面から会津地方の振興に貢献していきたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。

☎ 070-8801-4419

他方部の相談窓口については農業担い手課 HP をご覧ください。

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021c/syuunousoudanmadoguchi.html>

【農業振興普及部】



ふくしま農山漁村発イノベーションサポートセンター (ふくしま地域産業6次化サポートセンター)のご紹介

ふくしま農山漁村発イノベーションサポートセンターでは、県内の農林業者、商工業者等のみなさんが取り組む新商品開発や販売戦略の構築など、地域産業6次化推進に関わるあらゆる課題解決を支援しています。

会津・南会津地域の事業者で地域産業6次化に興味・関心のある方は、お気軽にお問い合わせください。

※今年度より、「ふくしま地域産業6次化サポートセンター」から「ふくしま農山漁村発イノベーションサポートセンター」へ名称が変更になりました。

福島県には、大切に作られてきた農林水産商品が多数あります。さらに6次化の波もまだまだ続いております。6次化に取り組む農山漁業者の皆さんと一緒に「無理せず楽しく続けられる6次化」を作っていけるよう精一杯頑張ります。



あきほ えいいちろう
秋保 栄一郎 企画推進員

会津事務所（会津若松市追手町7-5 福島県会津若松合同庁舎新館2階）

☎ 070-4815-7482 メール：6x@life-role.jp

<https://www.fukushima-message.com/>

【企画部】



山火事の防止について

例年、雪解け後の春先は空気が乾燥し、山火事が最も発生しやすい時季となっています。

そのため、山火事予防を目的として、令和4年4月1日から令和4年5月30日までの期間を「会津地方の山火事防止強調月間」と定め、普及啓発活動を実施しました。

今年度は新型コロナウイルスの影響により、山火事防止パレード等の活動ができないことから、当事務所においては山火事防止の看板を搭載した公用車による巡回や道の駅の来場者等への呼びかけなどに取り組みました。

林野火災のほとんどは、人為的な不注意によって発生しています。これからも山火事が発生しやすい時季が続きますので、かけがえのない貴重な森林を守るため、火の取り扱いには十分注意しましょう。



【森林林業部】



あいづ“まるごと”ネット会員募集中

会津・南会津地方の地域産業6次化ネットワーク「あいづ“まるごと”ネット」では、会員の交流会開催や販売会・各種研修・補助金等の情報をメルマガ配信しています。地域産業6次化に関心のある個人・団体の方なら業種問わずどなたでも参加できます。ぜひ登録してみませんか？

【SNS アカウント】

Twitter



Instagram



@aizumarugotonet

検索

AIZUMARUGOTONET

【会員のお申込みは HP より】

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36240a/aizumarugotonet-6.html>

【企画部】

【ご意見・お問合せ】

福島県会津農林事務所企画部地域農林企画課
 〒965-8501
 福島県会津若松市追手町7番5号(会津若松合同庁舎2階)
 ☎ (0242)29-5369 FAX (0242)29-5389
 E-mail: kikaku.af04@pref.fukushima.lg.jp

